

- 系 統 2液型可とう性エポキシ樹脂系モルタル
- 特 長 1) 可とう性に優れる。
2) コンクリートに対する接着性に優れる。
3) 耐水性、耐摩耗性、耐薬品性に優れる。
- 用 途 1) 薄層舗装材
2) ジョイント周辺のわだち・段差修正用

配 合 比

	結合材	骨材			合計
	#301 (A)	接着剤用 パウダー	接着剤用 硅砂4号	接着剤用 硅砂7号	
配合比(重量比)	1	1	5	2.5	9.5
1m ³ 当りの 標準使用量	221kg	221kg	1105kg	553kg	2100kg

- 荷 姿 1) #301 …1kgセットおよび10kgセット (主剤+硬化剤)
#301A…10kgセット (主剤+硬化剤)
2) 接着剤用パウダー…10kg/袋
3) 硅砂4号…25kg/袋
4) 硅砂7号…25kg/袋

可使時間および
養生時間

温 度 [°C]	5	20	30
可使時間 [時間]	3	2	0.75
養生時間 [時間] (自然養生)	24	12	6
養生時間 [時間] (ジェットヒーター加温養生: 4m×4m/1台)	2	1	0.5

- 比 重 2.10±0.10 (硬化物)

使 用 方 法

- #301あるいは#301Aをセット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
- 主剤と硬化剤を、攪拌機で均一になるまで混合攪拌する。
- #301Aを用いて着色する場合には、レジファルト用顔料を添加し、さらに均一になるまで混合攪拌する。
- 骨材を所定の配合で、モルタルミキサー等で混合攪拌する。
- 混合した骨材に、攪拌しながら#301または#301Aを加え、均一になるまで攪拌する。
- モルタル敷設面にプライマーとして#301または#301Aを0.3kg/m²塗布する。
- プライマーの硬化前に、モルタルをコテなどで転圧しながら、所定の厚さに仕上げる。

使用上の注意

- 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去)
- 可使時間内に作業を行う。
- 低温時には、#301あるいは#301Aの主剤や骨材をジェットヒーター等により加温すれば、混合が容易になり、良好な作業性が得られる。
- 施工後、降雨や濃霧等の恐れがある場合には、シート等を被せて養生を行う。

⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細についてはショーボンド #301, #301Aの製品安全データシート(MSDS)を参照してください。